RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS

2020年3月期
第２四半期 決算説明資料

2019年11月21日

株式会社 ライドオンエクスプレスホールディングス
（証券コード：６０８２）

Summary

20.3期 第２四半期累計 連結決算概要

- 売上高97.4億円、経常利益5.1億円と前年同期比で増収増益。
- ＧＷ長期化による特需、配達品質の向上、WEB主体のマーケティング戦略、メニュー改定等により、「銀のさら」売上が好調に推移。
- 売上が好調に推移したことによる生産性向上と、2018年10月に実施したメニュー改定に伴う商品構成の変化により、営業利益は前年同期比+66.1%。
- 前年同四半期における有価証券売却益の計上、当四半期における保有有価証券の評価減により、経常利益は前年同期比+35.5%。

20.3期 事業戦略

- ＧＷ特需による第２四半期までの実績及び、基幹事業の売上状況を鑑み、通期の業績予想を下記の通り修正しました。
  - 売上高210億円(前期比+2.4%)、経常利益15.6億円(前期比+44.6%)
- 注力ポイント
  - 銀のさら：WEB注文促進による注文顧客拡大
    イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦
  - ファインダイン：配達エリアの拡大、３大配送コスト削減

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

2020年３月期 第２四半期業績報告

連結業績推移 – 第２四半期累計

20.3期 2Q累計業績

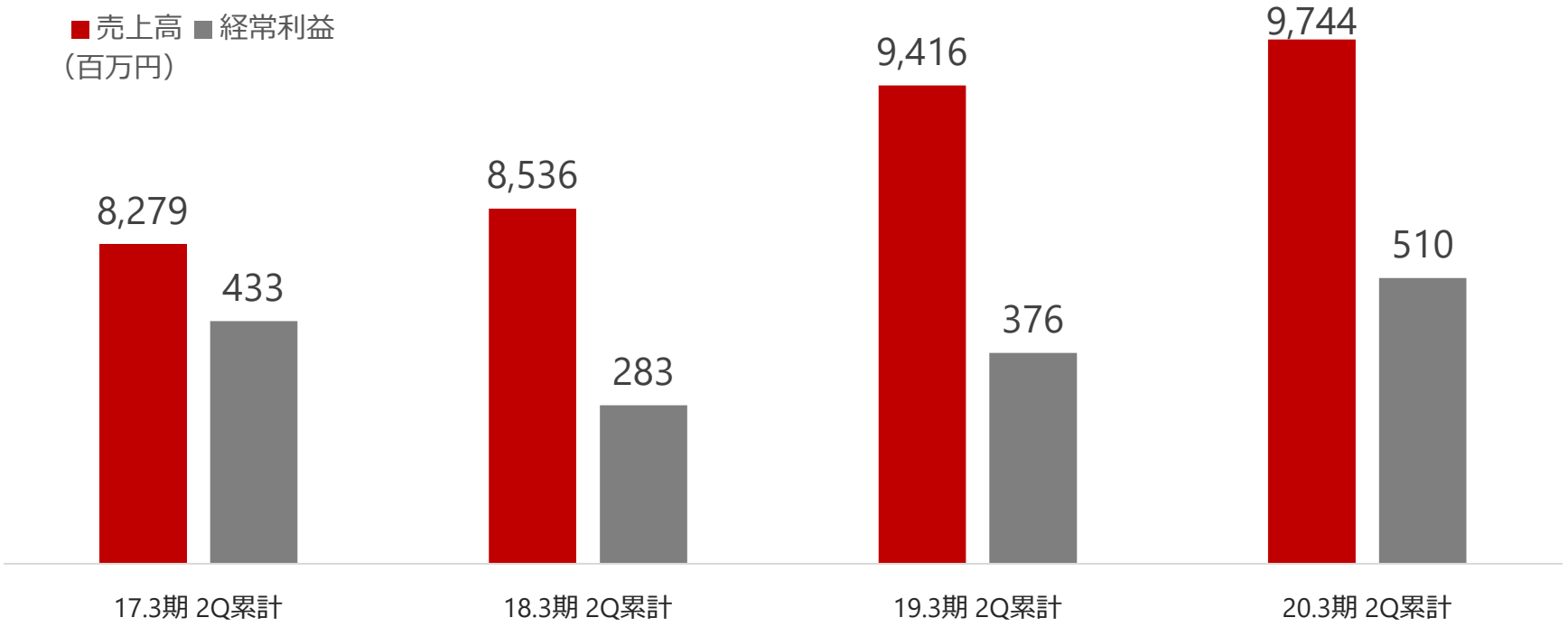
既存事業好調により売上増加。売上増での生産性向上により増益。

<売上高>　前期比+328百万円、増減率+3.5%

- ＧＷ長期化による特需、配達品質の向上、WEB主体のマーケティング戦略、メニュー改定等により、「銀のさら」売上が好調に推移。

<経常利益>　前期比+133百万円、増減率+35.5%

- 売上高増加により増益となるものの、前期に発生した有価証券売却益との差異等により、増減率+35.5%となった。



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

連結業績推移 – 第２四半期

20.3期 2Q業績

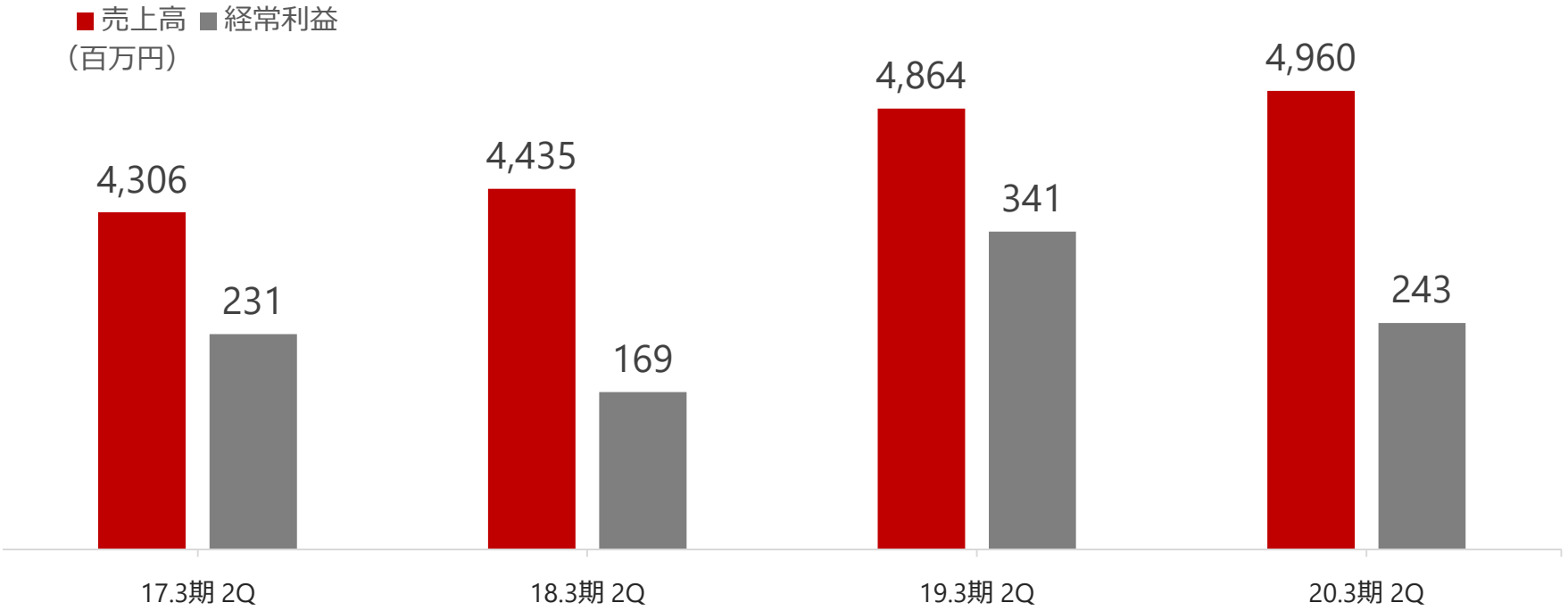
各種戦略が奏功し増収。有価証券の営業外損益の増減により減益。

<売上高>　前期比+95百万円、増減率+2.0%

- 配達品質の向上、WEB主体のマーケティング戦略、メニュー改定等により、基盤事業である「銀のさら」売上が好調に推移。

<経常利益>　前期比△97百万円、増減率△28.6%

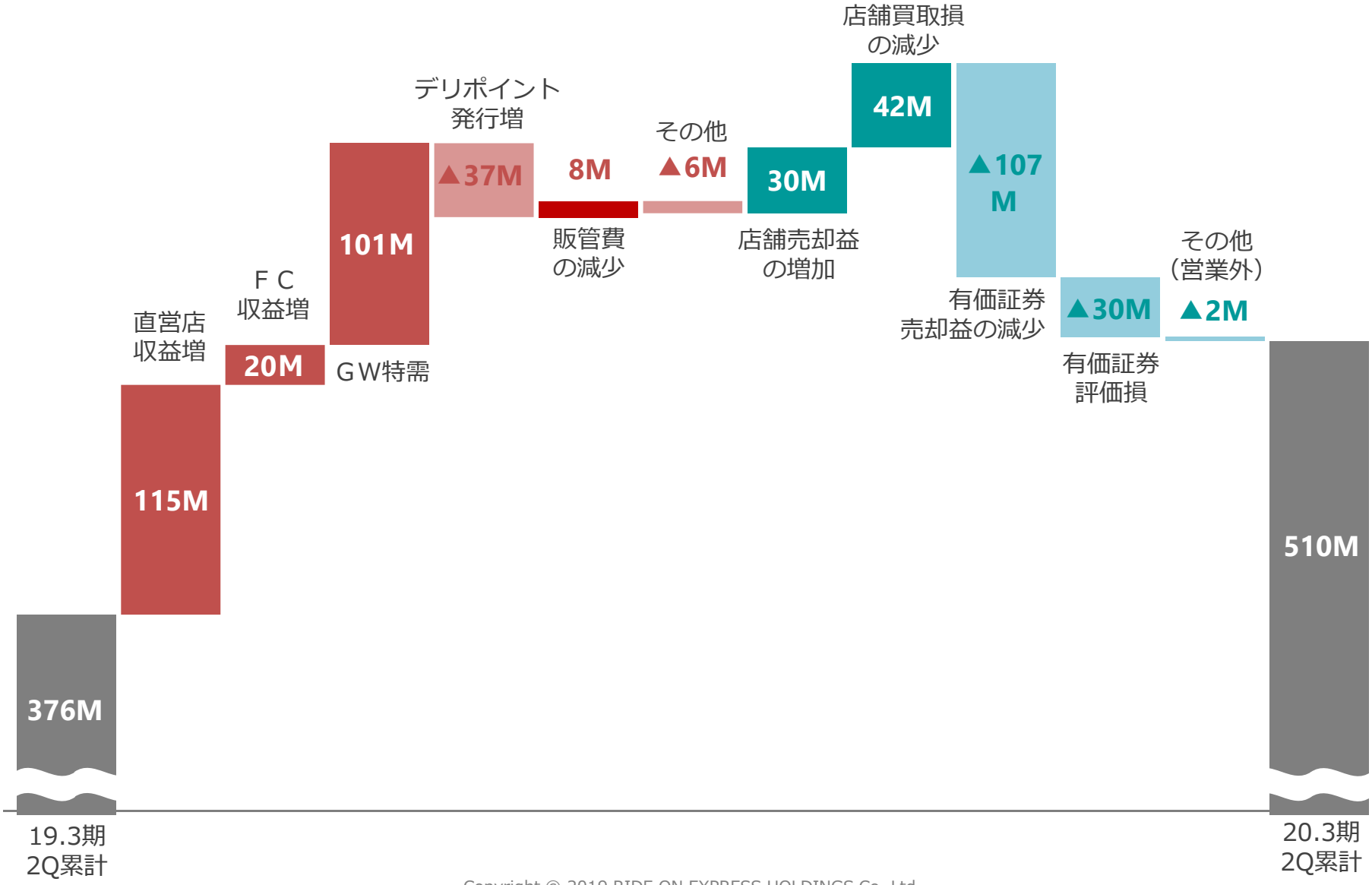
- 前年同四半期における有価証券売却益の計上、当四半期における保有有価証券の評価減により、経常利益は減益。



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

経常利益の前期比増減の構成 第２四半期累計

2019年特有の、GW期間の長期化と、元号変更による特需が大きく影響



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

店舗数・拠点数の増減

釜寅の出店促進等により、店舗数は３店舗増加

事業形態	ブランド	19.3期末 店舗数	出店	閉店	20.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	359	–	△1	358
	釜寅	191	5	△1	195
	すし上等！	150	–	–	150
宅配代行事業	ファインダイン	44	–	–	44
合計		744	5	△2	747

	19.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	20.3期 2Q拠点数
直営店	104	–	–	△4	100
FC店	265	–	△1	4	268
合計	369	–	△1	0	368

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

連結B/S 対前期末

借入金の返済等により総資産△142百万円。自己資本比率55.7%（前期末52.8%）

（単位：百万円）	19.3期末	20.3期2Q	前期比
流動資産	6,457	6,161	△296
(うち現預金)	3,492	3,342	△150
有形固定資産	681	830	+148
無形固定資産	368	379	+10
投資その他資産	2,398	2,392	△6
資産合計	9,906	9,763	△142
流動負債	2,898	2,784	△113
(うち1年内有利子負債)	440	440	±0
固定負債	1,775	1,541	△234
(うち1年超有利子負債)	1,276	1,052	△223
負債合計	4,673	4,325	△347
株主資本	5,196	5,409	+213
純資産合計	5,232	5,437	+204
負債・純資産合計	9,906	9,763	△142

ポイント

資産　△142百万円

【流動資産】　△296百万円
- 現金及び預金　△150百万円
- 売掛金　△126百万円

【固定資産】　+153百万円
- 有形固定資産　+148百万円
- 無形固定資産　+10百万円

負債　△347百万円

【流動負債】　△113百万円
【固定負債】　△234百万円
（借入金の約定返済によるもの）

純資産　+204百万円

【株主資本】　+213百万円
- 四半期純利益　+318百万円
- 配当金支払額　△105百万円

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

20.3期 2Qトピックス

- 「銀のさら」「釜寅」のイートイン型店舗オープン
  - デリバリーでしか召し上がることの出来なかった「銀のさら」「釜寅」を、よりたくさんのお客様に召し上がって頂きたいという思いから、お寿司や釜炊きの出汁ごはんを御膳形式でお楽しみいただける、新業態の和食レストランを2019年7月にオープンしました。

- 「銀のさら」「釜寅」「すし上等！」アプリにゲーム機能をリリース
  - 当社アプリとお客様との接点を増やすため、当社デリポイントを獲得できるアプリ内のゲーム機能をリリースしました。

- 「銀のさら」SNSキャンペーン開始
  - お客様の認知を拡大することを目的として、「『銀のさら』SNSキャンペーン フォトコン2019」を2019年7～9月の期間で開催いたしました。

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

通期業績予想の修正 – 連結

売上高210億円（増減率+0.9%）、経常利益15.6億円（増減率+34.2%）

- ＧW特需による第２四半期までの実績及び、WEB注文促進の各種施策の効果等による基幹事業の売上状況を鑑み、通期の業績予想を修正。
- 売上増加に伴う生産性の向上や、メニューの改定に伴う変動費の増減を見込む。

（単位：百万円） 下段：	20.3期 通期 業績予想(前回)	20.3期 通期 業績予想(修正)	増減額
	売上構成比%	売上構成比%	増減率%
売上高	20,820	21,006	+186
	–	–	+0.9%
営業利益	1,151	1,557	+405
	5.5%	7.4%	+35.2%
経常利益	1,162	1,560	+398
	5.6%	7.4%	+34.2%
当期純利益	730	979	+249
	3.5%	4.7%	+34.1%
1株当たり当期純利益	69.52円	93.22円	–

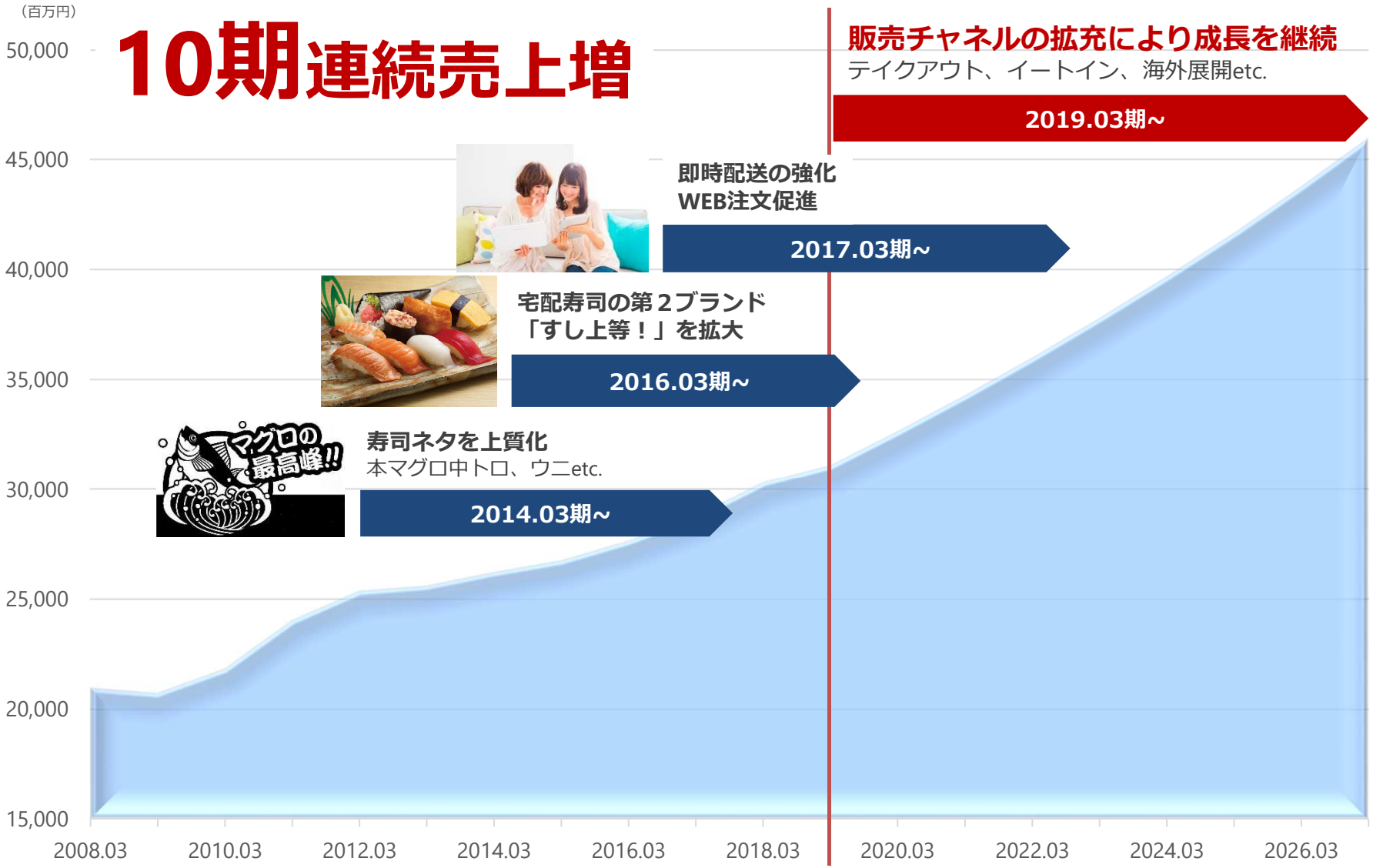
※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

2020年3月期 成長戦略

宅配寿司の事業拡大ビジョン

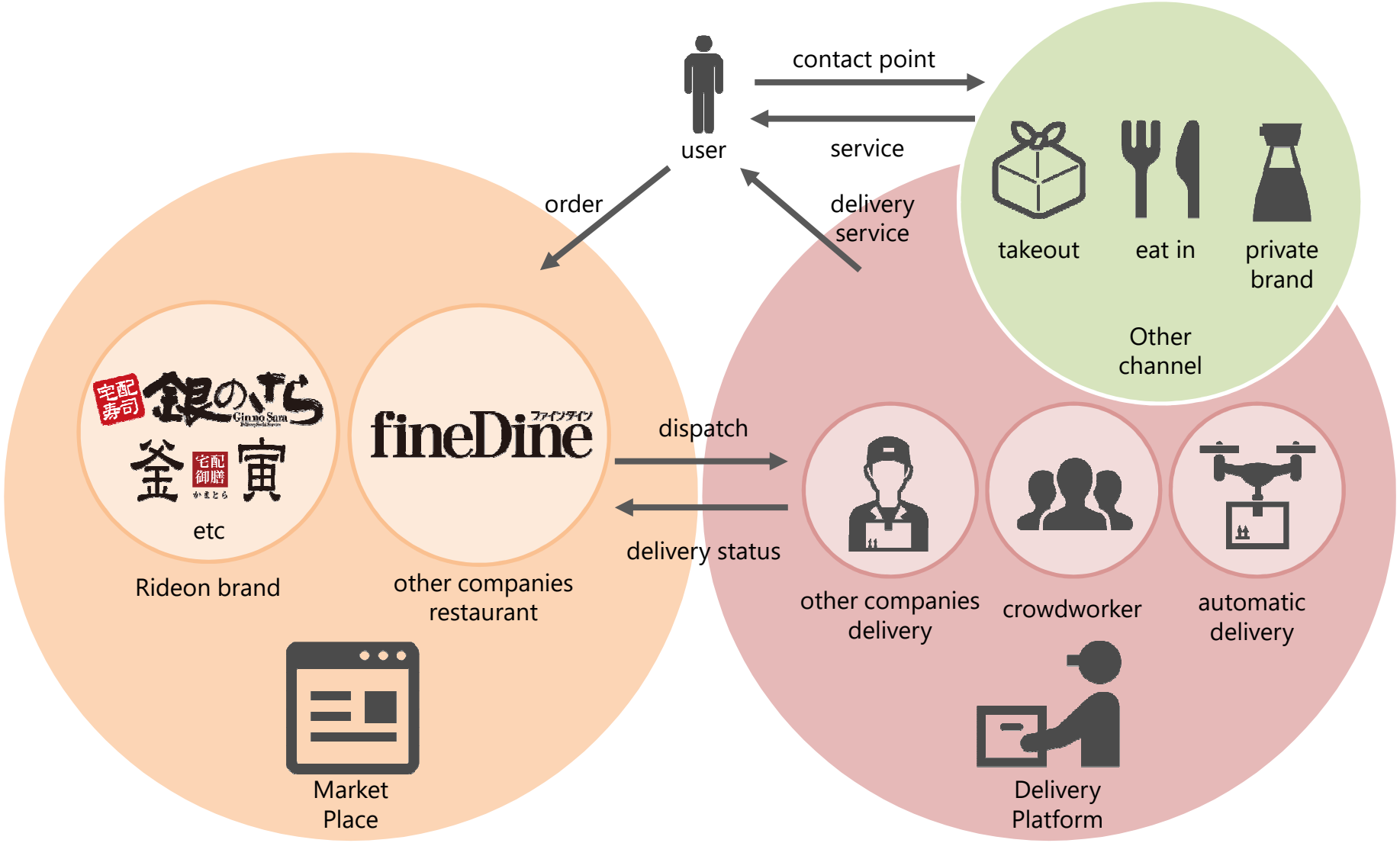
デリバリー以外の様々な販路を拡大し、より「銀のさら」を身近なブランドへ



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

当社の事業ビジョン

プラットフォームを構築し、フードデリバリーのフロントリーダーへ



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

今期の成長戦略

2019.3 — **2020.3** — 2021.3

銀のさら

- WEB注文促進による顧客拡大
  - デリポイント施策
  - アプリ利用の拡大
- イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦

釜寅

- 日常性の訴求に伴うランチ帯売上獲得
- 利便性向上を目的とした使い捨て容器導入

ファインダイン

- 配達エリアの拡大
- ３大配送コスト削減
  - 配送コスト
  - 配車コスト
  - 販促コスト

事業基盤強化：組織体制の刷新

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

WEB注文促進による顧客拡大

デリポイント、各種WEB向け販売施策、及び自社アプリの機能開発を実施。
引き続きWEB注文の利便性を高め、注文回数を増やしていく。

GW：ポイントプレゼント
キャンペーン

夏季：銀のさらフェスティバル

年末年始：早期予約キャンペーン

2019.04

2020.01

2020.03

Amazon Alexaスキルリリース

自社アプリ内
ゲームリリース

秋季：電子決済還元キャンペーン

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

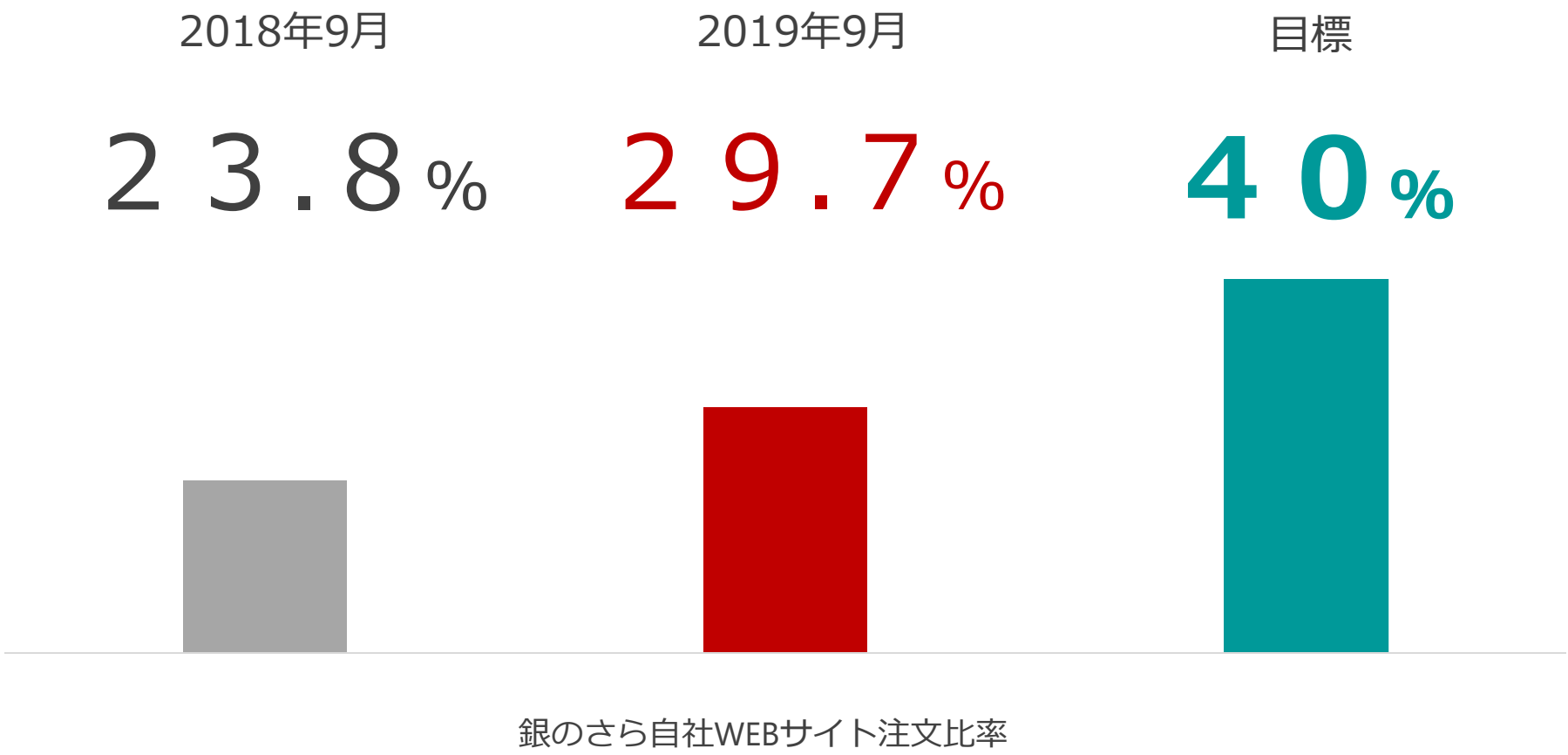
WEB注文促進による顧客拡大

自社アプリに関しては、ポイント還元を行うゲーム機能を実装。
自社アプリと顧客との接点を増やしていく。

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

WEB注文促進による顧客拡大

自社WEBサイトにおける注文比率は、順調に推移。
当面の目標である、注文比率４０%を目指す。



銀のさら自社WEBサイト注文比率

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

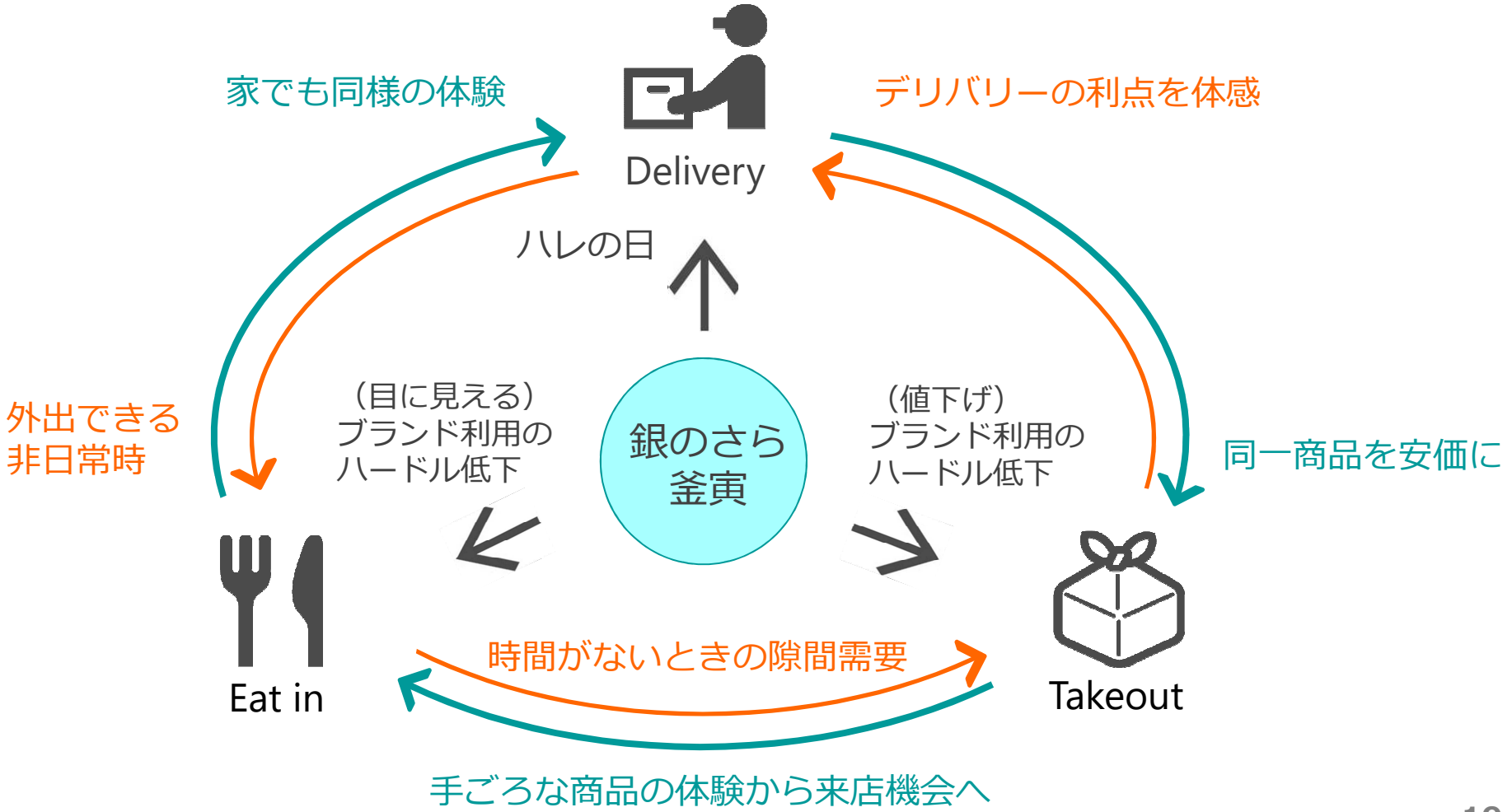
イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦

2019年7月　岐阜県にて、
イートイン＆デリバリー型の新たな店舗モデル検証をスタート

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦

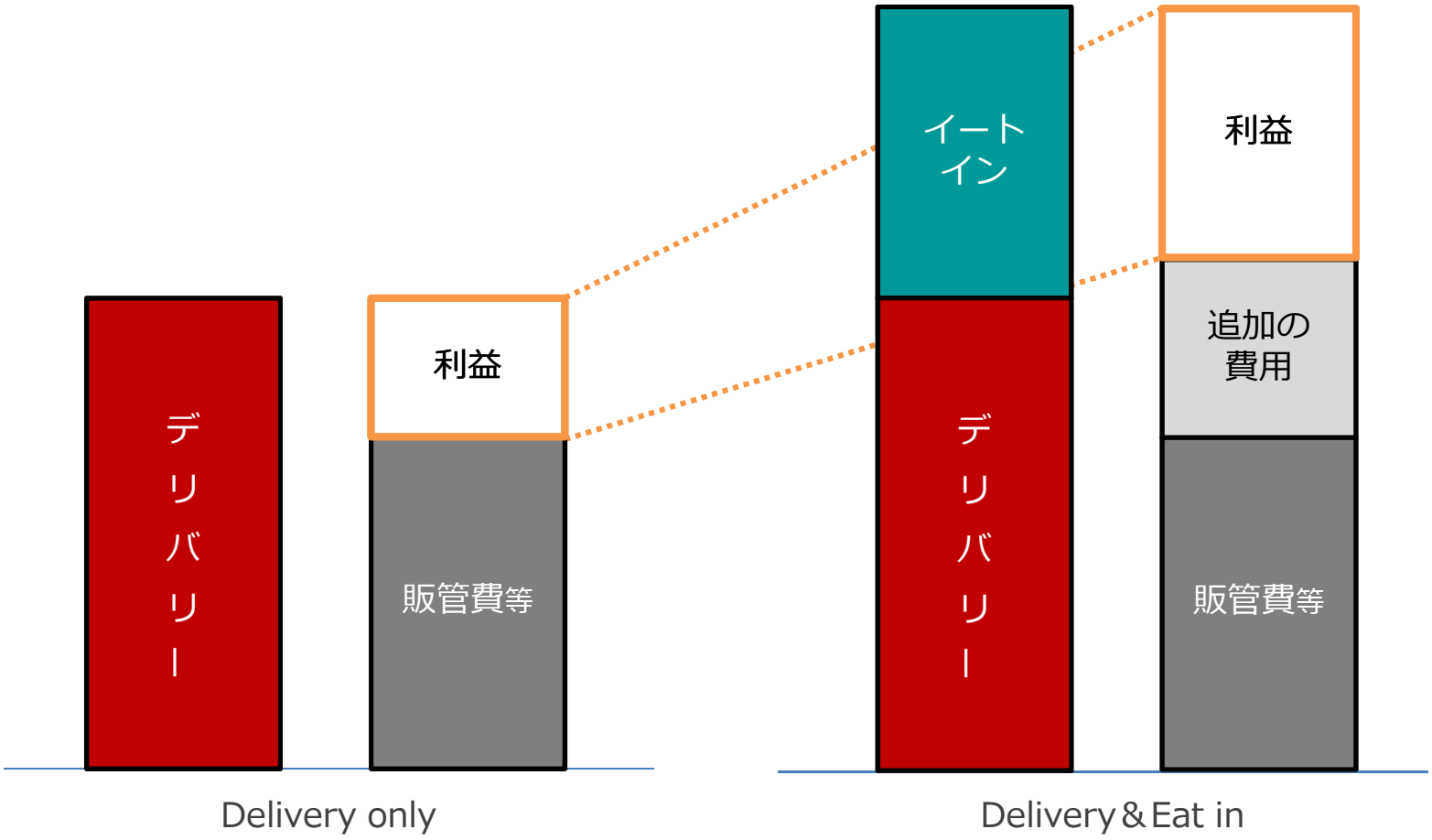
同一店舗で各チャネルによる販売をすることで、相互作用により、
顧客の注文機会・ブランドとの接点を高めていく。



Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦

従来のデリバリー以外に、イートイン需要を取り込むことで、
より高収益な店舗モデルを目指す。



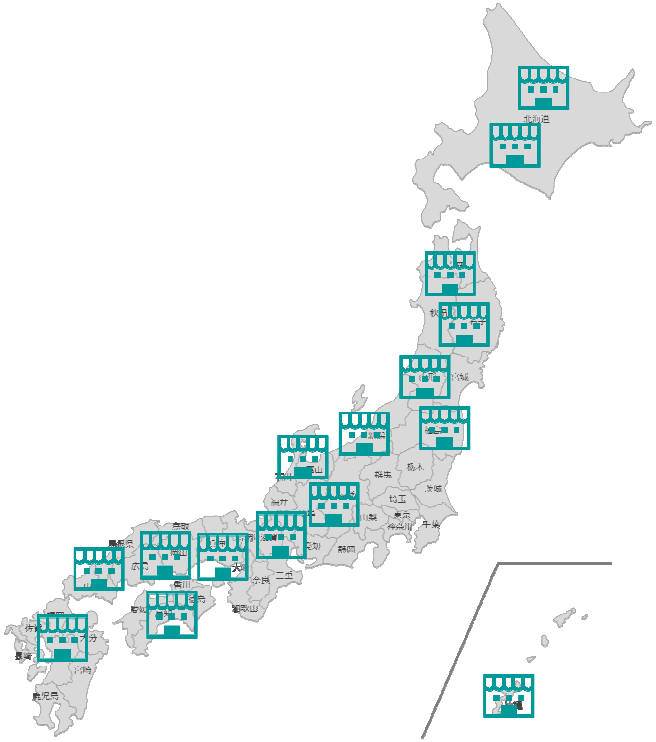
Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

イートイン＆デリバリーの、新たな複合モデルの挑戦

１店舗目の実証実験を基に、新たな出店モデルを模索。
将来的に「銀のさら」未出店の地域にも、拡大できる体制を構築する。

now

short term



long term

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

釜寅 - 日常性訴求・利便性向上 -

ランチメニューの切替は2019年6月より実施。順調にランチ売上を獲得しており、
今後の認知拡大を目指す。使い捨て容器導入も全国展開に向けて検証中。

うなぎまぶし（使い捨て容器）

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

参考資料

会社概要

※2019年3月末時点

商号	株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.
設立	2001年7月
代表者	代表取締役社長　江見　朗
資本金	9億8,245万円
従業員数（連結）	3,453名／うち正社員350名
事業内容	フードデリバリーチェーンの経営管理業務
本社所在地	東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館17階
役員	代表取締役社長　江見　朗 取締役副社長　松島　和之 取締役副社長　渡邊　一正 常務取締役　冨板　克行 常務取締役　水谷　俊彦 常務取締役　赤木　豊 取締役 (監査等委員)　清野　敏彦 社外取締役 (監査等委員)　瀧谷　啓吾 社外取締役 (監査等委員)　岩部　成善
決算期	3月
株式上場	東京証券取引所市場第一部
グループ会社	株式会社ライドオンエクスプレス 株式会社ライドオンデマンド ライドオン・エースタート1号投資事業有限責任組合 ライドオン・エースタート2号投資事業有限責任組合

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

企業の沿革

2001・・・・・・・2005・・・・・・・2011・・・・・・・2015・・・2017・・・2019

出店店舗数

- 2001年 設立
- 2002年 銀のさら200店舗突破
- 2004年 総店舗数300店舗突破
- 2008年 総店舗数400店舗突破
- 2011年 総店舗数500店舗突破
- 2015年 総店舗数600店舗突破
- 2016年 総店舗数700店舗突破

会社沿革

2001年7月 本社を東京都台東区に移転

2001年10月 銀のさら」FC募集開始

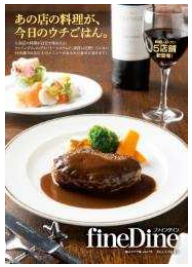
2002年4月 釜寅」1号店出店

2004年6月 株式会社レストラン・エクスプレス設立

2005年10月 FC募集開始
銀のさら」釜寅」複合店舗の

2006年12月 本社を東京都港区に移転

2008年7月 ファインダイン事業をM&A



fineDine ファインダイン

2013年4月 株式会社ライドオン・エクスプレスへ

2013年12月 商号変更
東証マザーズ上場

Mothers

2015年4月 すし上等！」1号店出店

2015年11月 東証一部へ市場変更

JPX 東証一部上場

宅配寿司 すし上等！ SUSHI JOTO

2017年10月 株式会社ライドオンエクスプレス
ホールディングスへ商号変更

2019年3月 宅配寿司チェーン売上高
創業以来初の300億円を達成

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

フードデリバリーの特異性

立地にとらわれない

立地の優位性で大きく左右される外食と違い、住宅街等に展開できる宅配店舗は、

- 物件が見つかりやすい。
- 家賃が安い→固定費の低減。

初期投資が低い

お客様を迎える店舗ではないので、

- 外装・内装費を抑えられる。

席数の上限に左右されない

お客様を迎える店舗ではないので、

- お客様の滞留時間がなく、売上を獲得するための業務に特化できるため効率が良い。
- 売上が見込める時期には積極的な販売促進によって、売上を戦略的に獲得できる。

One to Oneマーケティングの実践

- どれくらいの販売促進（ポスティング・折込）を行えば、どれくらいの売上が獲得できるか、科学的アプローチで想定ができるため、戦略が立てやすい。
- 宅配の特性上、注文履歴をはじめとした様々なお客様情報、アンケート活動等により取得したお誕生日情報等、多様な顧客情報（ビッグデータ）を保持しているため、顧客ひとりひとりのニーズにあわせた情報・サービスの提供といった戦略的な販売促進活動が可能である。
- 元来の電話受注に加え、昨今のWEB受注による顧客においては、さらに安価で高頻度なコミュニケーションおよび円滑な受注を行うことが可能である。

<ご注文時にいただける顧客情報>
・氏名・電話番号・住所・注文内容

<アンケート等で獲得している顧客情報>
・家族氏名・家族誕生日・家族記念日　等

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

フードデリバリーの優位性を生かした複合化戦略

宅配店舗はお客様が来店されない為、「銀のさら」を核として１拠点に複数のブランドを出店することが可能。

単一でも力のあるデリバリーブランド店舗を同一拠点内に複合化して出店することで、店舗設備・物流インフラ・食材・人財・顧客データなどを共有して生産性を高めつつ、売上を拡大することで、さらなる収益化を目指します。

基幹ブランドは「銀のさら」

複合化戦略の効果

- 売上の拡大 ↑
- 初期投資の抑制 ↓
- 家賃等の固定費削減 ↓
- 運営のための変動費 ↓
- アイドルタイムの相互活用 ↑
- 人件費の低減 ↓
- 顧客データの相互活用 ↑

経営資源の有効活用

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

レストランデリバリーサービス「ファインダイン」

宅配代行ブランド

fineDine ファインダイン

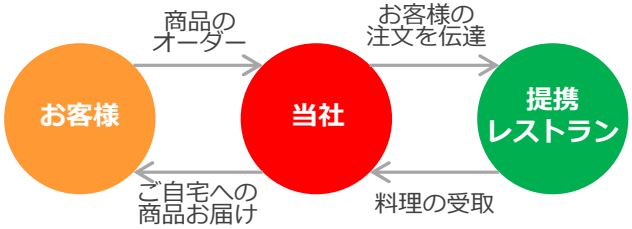
宅配機能を持たないレストランの宅配を代行するサービス。
お客様のご自宅に厳選されたレストランの商品をお届けしています。消費者と飲食店双方のニーズに応えたまったく新しいデリバリーサービスです。

消費者

ニーズ
- 美味しいと評判のレストランに行ってみたいけれど、行列でいつも入れない。
- 小さな子供や高齢者がおり、気軽に好きなお店に食べに行き難い。
- こだわりの料理を自宅でも手軽に食べたい。

fineDine ファインダイン

**デリバリービジネスを知り尽くした
RIDE ON EXPRESS GROUPだからこそ
実現可能なビジネスモデル**



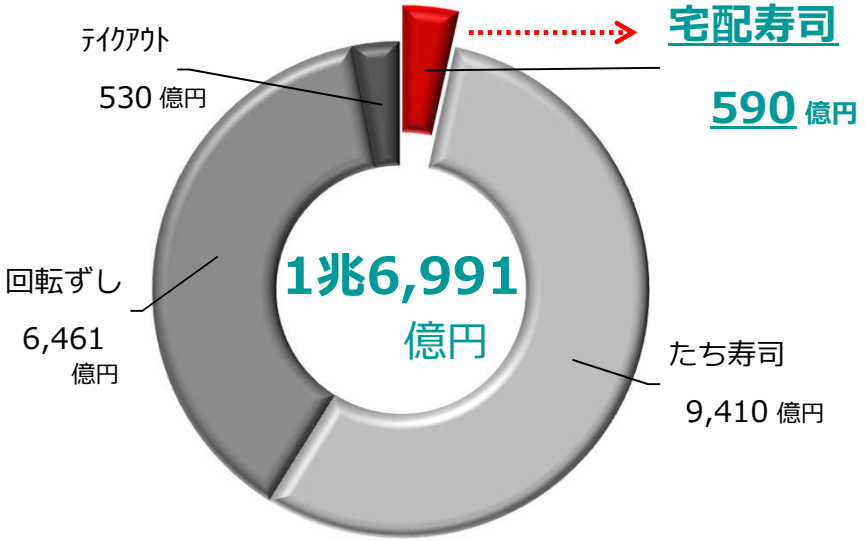
飲食店

fineDineを利用するメリット
- ピークタイムの座席制限に縛られることなく、売上を確保できる。
- 効率的な広告宣伝・販促手法を確立できる。
- 今後成長が期待される中食市場に参入するためのノウハウを獲得できる。

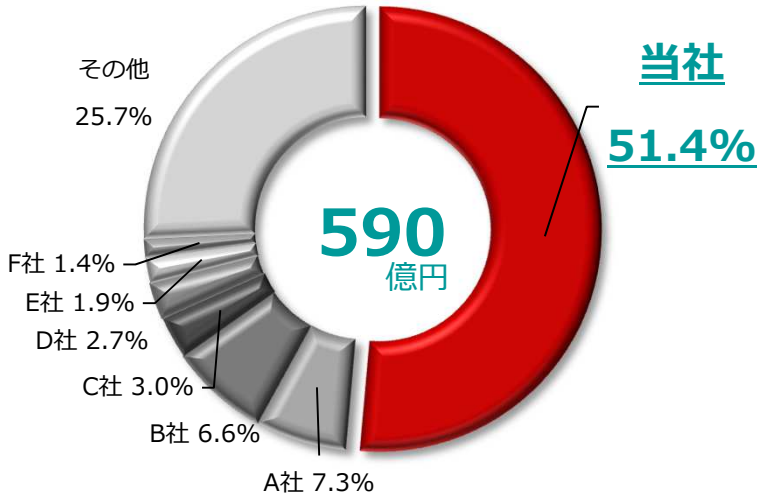
Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

市場規模 ※株式会社富士経済（外食産業マーケティング便覧2019）より

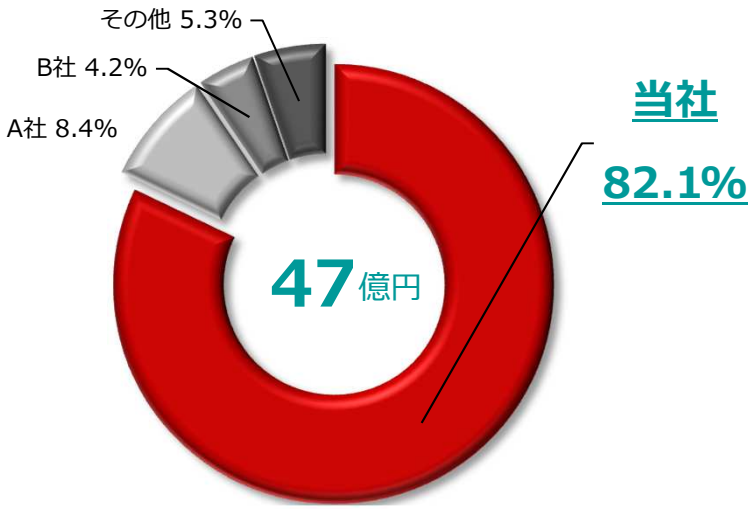
日本の寿司市場（2018年実績）



宅配寿司市場（2018年実績）



宅配釜飯市場（2018年実績）

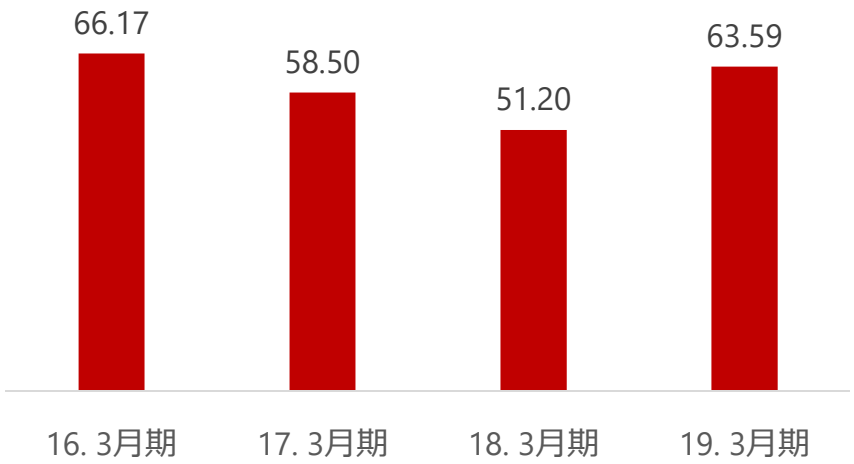


Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

各種指標（連結）

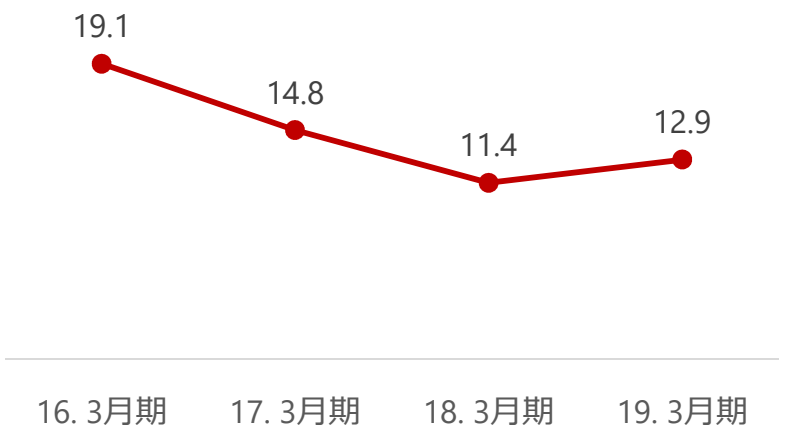
１株当たり当期純利益

（単位：円）



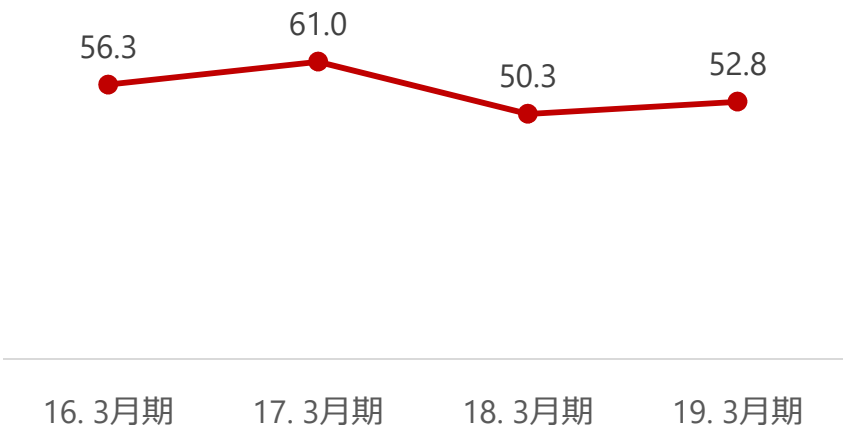
自己資本当期純利益率

（単位：%）



自己資本比率

（単位：%）



１株当たり純資産

（単位：円）

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.

ディスクレイマー

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予測なしに変更する可能性があります。
また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報、将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

Copyright © 2019 RIDE ON EXPRESS HOLDINGS Co.,Ltd.